

文部科学省大学間連携共同教育推進事業

# 京都三大学 教養教育共同化

京都三大学教養教育研究・推進機構  
(京都工芸繊維大学・京都府立大学・京都府立医科大学)

*Institute of Liberal Arts and Sciences*

*Kyoto Institute of Technology, Kyoto Prefectural University,*

*Kyoto Prefectural University of Medicine*

## 時代が求める新たな教養教育の構築

京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学の京都三大学は、それぞれ100年を超える歴史の中で個性ある学風を培い、京都、日本、そして世界で活躍する人材の育成を行ってきました。

京都三大学では、それぞれの教育理念を基本にしながら、3大学が共同することによって、時代が求める新たな教養教育を構築していくため、平成26年度から全国初となる教養教育共同化をスタートします。共同化によって3大学の学生交流が促進され、下鴨・北山地域における新しい学生のライフスタイル、大学像が構築されることも期待しています。

# 京都三大学 教養教育共同化について

## 共同化 の趣旨

変化の激しい今日にあって、時代が求める新たな教養教育を構築していくため、次の3点をねらいとして取り組みます。

- 1 三大学は個々には規模が小さく、各大学で提供できる科目には限りがあるため、各大学の強みと特徴を生かした科目を提供しあい、学生の科目選択の幅を広げ、学修意欲を一層高めること
- 2 文系、理工系、医学系の専門分野や将来の志望の異なる三大学の学生が授業で混在し、多様な視点や価値観を交流して、一緒に学ぶ学修空間を創り出すこと
- 3 学生間の交流や討論、共同学修が進むよう学生参画型の授業を広げていくこと

## 教育の 目標

グローバル化や少子高齢化の進展など課題が山積する中で、多様な事象に関心を持ち、総合的に物事を観察し、的確に判断できる能力と豊かな人間性を持つ人材の育成を目指して次の3点から取組を進めます。

- A 人文・社会・自然諸分野の基礎を幅広く修得し、これらへの高い関心を育てる
- B 世界の人々の多様な生き方を感じ、豊かな人間性と高い倫理観を涵養する
- C 日々社会に生起する種々の問題において、真理や正義を探求する議論に習熟する

## 取組 内容

### 1 京都三大学のリベラルアーツ系科目の共同開講

初年度の平成26年度は、各大学が提供しあう講義方式61科目（人文系21科目、社会系21科目、自然系19科目）、リベラルアーツ・ゼミナール7科目（人文系2科目、社会系5科目）の計68の共同化科目でスタートします。これらは3大学いずれの学生も自大学の授業として履修できるため、従来と比べ科目選択の幅が2～5倍と大きく増加するとともに、諸分野をバランス良く履修することができます。また、大学間の移動など学生がより受講しやすいよう、月曜午後の3つの時限に統一した時間割を作成し、集中して共同化科目を提供します。

### 2 「京都学」科目の開講

講義系61科目のうち10科目は、京都という地の地域的、歴史的、文化的特色を生かした「京都学」の授業を行います。そのうち1科目は「京都学事始－近代京都と三大学－」として三大学の足跡をたどりながら京都の近代化とこれに果たした三大学の役割を概観するリレー講義方式の科目を新設します。

### 3 リベラルアーツ・ゼミナールの開講

学生同士が交流し、共通のテーマで対話し議論する力を育むことをねらいとした少人数のゼミナール科目です。考え方や学び方の基礎力を培うゼミナールやグローバルな視野を広げるゼミナールなど7科目を新設します。

### 4 取組の展開

学修状況や授業の成果、学生からの要望等を踏まえつつ、科目の拡大等共同化の更なる展開に向けて検討を進めます。また、従来から実施してきた三大学の教養教育単位互換の取組も充実を図りつつ継続します。さらに、講演会やシンポジウム等によって学外に向けて取組状況をお知らせし、また、生涯学習の機会としても提供していきます。

# 京都三大学の紹介

## 京都工芸繊維大学



京都工芸繊維大学学長  
古山 正雄

京都工芸繊維大学は、京都高等工芸学校および京都蚕業講習所に端を発する110余年の歴史の中で、「知と美と技」を探求する独自の学風を築き上げてきました。この栄光ある歴史に新たな一頁を加えるべく、豊かな人間性にもとづく技術の創造をめざして技を極め、人間の知性と感性の共鳴を求めて知と美の融合をめざし、教育研究の成果を世界に発信しています。

本学の特色としては、ものづくりを基盤とした「人に優しい実学」を目指した個性ある教育研究を行っているところです。



## 京都府立大学



京都府立大学学長  
築山 崇

京都府立大学は、人文・社会・自然の諸分野にまたがる3学部・大学院3研究科を備えた総合大学であり、小規模の利点を生かした密度の高い教育活動と、高度かつ地域社会と密接に連携した研究活動を旺盛に展開しています。

大学が立地する洛北には、国立私立の大学・研究所などがあり、京都でも屈指の学術の集積地となっており、本学は隣接する府立植物園・府立総合資料館・京都コンサートホールとともに北山文化環境ゾーンを形成しています。

現在新しい施設の建設も進み、学びと交流の場としての魅力がますます高まっており、学生生活の新しいスタイルの創造が期待されています。



## 京都府立医科大学

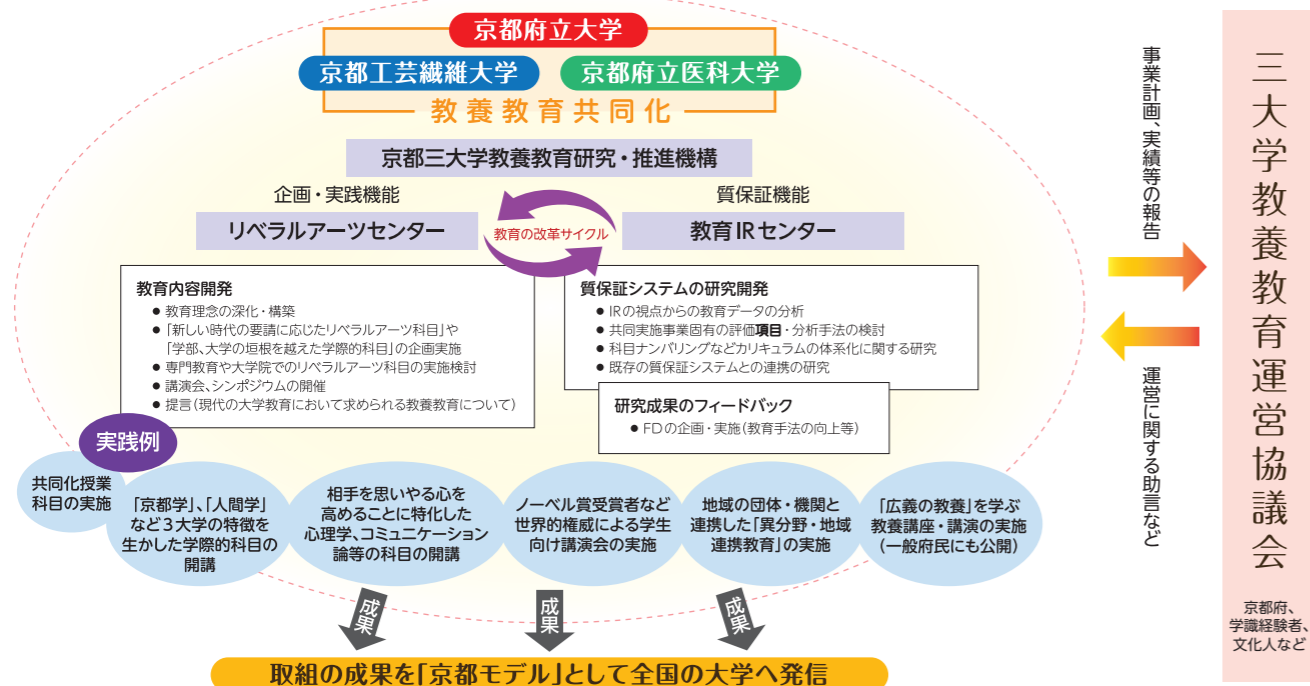


京都府立医科大学学長  
吉川 敏一

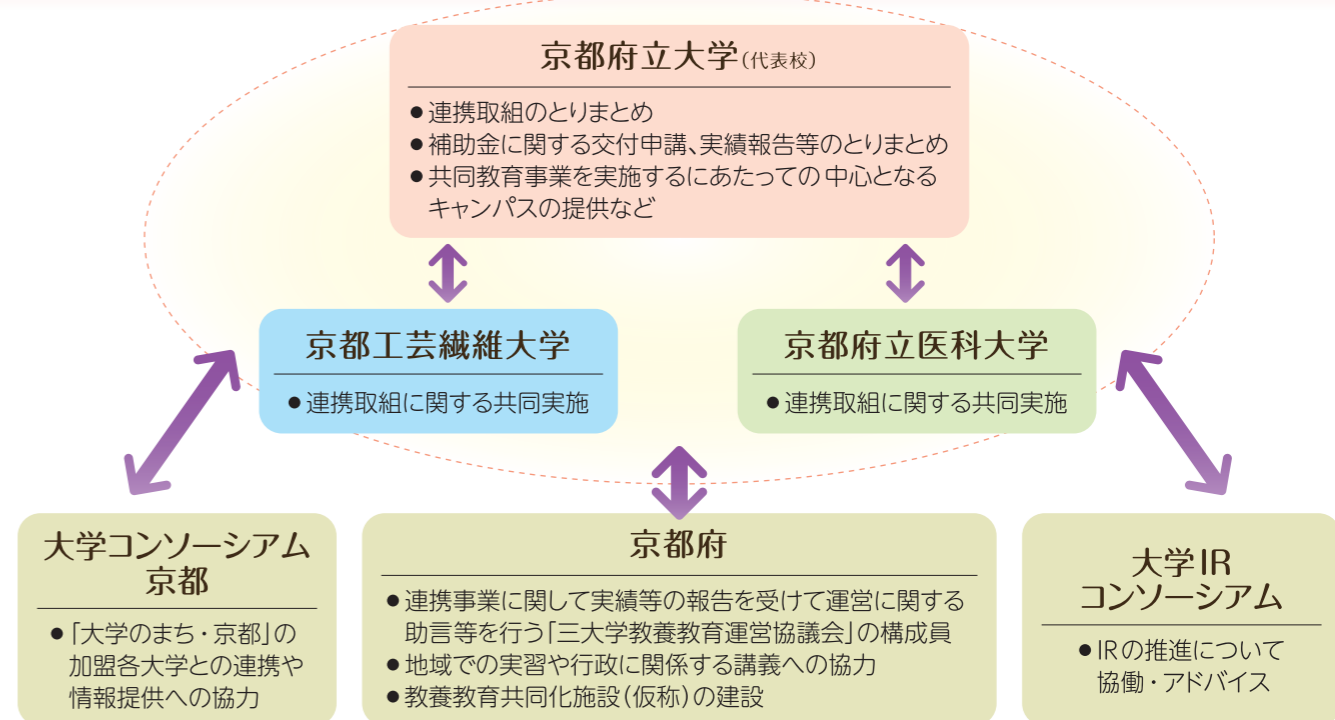
京都府立医科大学は、1872年（明治5年）、府民自らの寄付によって、京都東山の青蓮院に建設された療病院から誕生した日本最古の医科大学です。以来、時代に翻弄されながらも、140年の歴史の中で培った「人間愛」「地域貢献」「国際的視野の涵養（かんよう）」という教育理念は変わることなく引き継がれ、京都、日本、そして世界の人々の健康に貢献する人材を育成し、全人的な医療を実践してきました。今も残る校章の「橘（たちばな）」は、「誠実と忠誠」の象徴。季節は巡っても変わることなく鮮やかな緑の葉をつける橘に、京都府立医科大学が、常に医学の真理を探究し、府民への変わりぬ  
仁慈の愛を持ち続けていることを託しています。



### 京都三大学教養教育共同化による「新しい時代の要請に応じた教養教育」の実践



### 機構の構成について



# 教養教育共同化のカリキュラム

各科目が、A.幅広い知識の修得、B.多様な人間世界の事象に触れ生き方を感じし思考する、C.真理と正義に係る多面的な議論や論考に習熟する、A、B、Cのどの性格を持つかを示し、科目選択の参考となるようにしています。

科目群	科目名	開講期	授業目的区分		
			A	B	C
人間と文化 (23科目)	哲学	後	○	○	
	人間学	後	◎	○	
	比較宗教学	前		○	
	宗教学	前	○	◎	
	日本史	後	○		
	東西文化交流史	後	○	○	○
	日本文学Ⅰ	前		○	
	日本文学Ⅱ	後		○	
	西洋文学論	前		○	
	日本近現代文学	前		○	
	文芸創作論	後		○	
	西洋文化論	後	○		○
	ラテン語	後	○	○	
	音楽	前	○	○	
	美と芸術	前	○	○	
	アジアの歴史と文化	前	○		
	京都の文学Ⅰ	前		○	
	京都の文学Ⅱ	後		○	
	京の意匠	後	○	○	○
	京都の歴史Ⅰ	前		○	
	京都の歴史Ⅱ	後		○	
	リベラルアーツ・ゼミナールⅥ (現代イスラーム世界の文化と社会)	集中		○	○
	リベラルアーツ・ゼミナールⅦ (感性の実践哲学)	集中		○	○
人間と社会 (26科目)	政治学	後	○		○
	現代の政治	前	◎		○
	国際政治	後	◎	○	○
	公共哲学	前		○	○
	経済学入門	後	○		
	生活と経済	後	○		○
	現代日本と経済	前	◎		○
	人文地理学Ⅰ	前	○	○	
	人文地理学Ⅱ	後	○	○	
	現代京都論	前		○	
	京の産業技術史	前		○	
	京都学事始 —近代京都と三大学—	後			○
	文化社会学	後	○		○
	社会学Ⅰ	前	○	○	○
	社会学Ⅱ	後	○	○	○
	心理学	前	○	○	
	現代社会と心	後	○		○
	現代社会とジェンダー	前		○	○
	現代教育論	前		○	○
	医史学	後	○	○	
	人権教育	前	○		○
	リベラルアーツ・ゼミナールⅠ (感覚で探る問題解決の方法)	後		○	○
	リベラルアーツ・ゼミナールⅡ (現代社会に学ぶ問う力・書く力)	前		○	◎
	リベラルアーツ・ゼミナールⅢ (社会科学の学び方)	後		○	◎
	リベラルアーツ・ゼミナールⅣ (現代社会と映画製作)	集中		○	○
	リベラルアーツ・ゼミナールⅤ (アメリカと中国はいま)	集中		○	○

科目群	科目名	開講期	授業目的区分		
			A	B	C
人間と自然 (19科目)	人と自然と数学 $\alpha$	前	○	○	○
	人と自然と数学 $\beta$	後	○		○
	物理学Ⅰ	前	○		
	人と自然と物理学	後	○		○
	化学概論Ⅰ	前	○		
	化学概論Ⅱ	後	○		
	生物学概論Ⅰ	前	○		
	生物学概論Ⅱ	後	○		
	人類生態学	後	○		
	科学史	後	○	○	
	科学と思想	後	○		○
	地球の科学	後	○		○
	宇宙と地球の科学	後	○		
	エネルギー科学	前	○		○
	環境問題と持続可能な社会	前	○		○
	キャンパスヘルス概論	前	○	○	○
	食と健康の科学	前	○		○
	京都の農林業	後	○		
	京都の自然と森林	前	○		

科目群	科目名	開講期	授業目的区分			
			A	B	C	
(再掲) リベラルアーツ・ゼミナール (7科目)	リベラルアーツ・ゼミナールⅠ (感覚で探る問題解決の方法)	後		○	○	
	リベラルアーツ・ゼミナールⅡ (現代社会に学ぶ問う力・書く力)	前		○	◎	
	リベラルアーツ・ゼミナールⅢ (社会科学の学び方)	後		○	◎	
	集中開講	リベラルアーツ・ゼミナールⅣ (現代社会と映画製作)	集中		○	○
		リベラルアーツ・ゼミナールⅤ (アメリカと中国はいま)	集中		○	○
		リベラルアーツ・ゼミナールⅥ (現代イスラーム世界の文化と社会)	集中		○	○
		リベラルアーツ・ゼミナールⅦ (感性の実践哲学)	集中		○	○

科目群	科目名	開講期	授業目的区分		
			A	B	C
(再掲) 京都学 (10科目)	京都の文学Ⅰ	前		○	
	京都の文学Ⅱ	後		○	
	京の意匠	後	○	○	○
	京都の歴史Ⅰ	前		○	
	京都の歴史Ⅱ	後		○	
	現代京都論	前		○	
	京の産業技術史	前		○	
	京都の農林業	後	○		
	京都の自然と森林	前	○		
	京都学事始 —近代京都と三大学—	後			○

※授業目的区分欄の「○」は、該当するもの、「◎」は特に強調するもの

# 北山文化環境ゾーンにおける教養教育共同化施設（仮称）の建設

教養教育共同化のため、京都府立大学キャンパスで、鉄筋コンクリート3階建ての教養教育共同化施設（仮称）の建設が進んでいます。京都府立大学は、府立植物園・府立総合資料館・京都コンサートホールとともに北山文化環境ゾーンを構成しており、共同化施設の整備によって多様な交流が一層促進され、下鴨・北山地域における新しい学生のライフスタイル、大学像の構築が期待されます。

## 教養教育共同化施設（仮称）

『北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告』より



Google maps より



教養教育共同化施設（仮称）完成イメージ図

1階には、3大学の学生が共同で学ぶための最大100～200名収容の講義室（計6室）や府民の方も御利用いただけるレストラン等が整備される予定です。

この施設の建設には、稲盛和夫氏（京セラ株式会社名誉会長）から20億円のご寄附をいただき、完成後は施設名を「稲盛記念会館」としてオープンする予定です。



京都三大学  
教養教育研究・推進機構  
Institute of Liberal Arts and Sciences

TEL : 075-706-5136 FAX : 075-701-8820  
E-mail : kyouyou@kpu.ac.jp URL : <http://kyoto3univ.jp/>